

## 「部門別内容」 及び 「昨年度受講者の評価」

部門	背景と狙い	内 容
<b>【生産】</b>	<p>ここ数年、各社で発生した防火認定に関わる不適合を見てみると原因が生産部門であれ、他部門であれ不適合品を作り続けてしまった。これは工業化住宅の強みである量産が悪い形で出てしまった。</p> <p>これらの不適合の発生を4M(人・設備・材料・方法)が変わった際の初期の段階で発見出来れば良かったが残念ながら発見できなかった。もちろん各社とも初期流動管理を実施して、4Mの変化を管理していたが、より有効的な方法を選び効率良く、より確実に実施していく必要があった。</p> <p>今回の講習では、これらを反省し不適合の発生、流出を防止し、工業化住宅の強みである、ばらつきの少ない品質(Q)、工期の短縮(D)、コスト削減(C)を実現する為にはAI、IoT、IC等の先進的な技術を導入するだけでなく、参加される参加者の改善、改革を進める『高い現場力』を実現する為には、各自が実施している方法だけでなく、各社で実施している管理方法の実例を学び、自社の方法と融合させより効果の高い初期流動管理を行う為の方法を学んで頂く。</p>	<p>1)ばらつきの評価方法の講義 ヒストグラム、CP値の算出演習</p> <p>2)各社の変化点管理事例紹介 事例紹介を受けて、個人演習とグループ討議</p> <p>3)各自のヒューマンエラー対策発表と業務課題についてのグループディスカッション</p> <p>4)工場見学</p>
<b>【邸別設計】</b>	<p>我々プレハブ住宅のシェアは17%前後で推移し、今後の消費増税・オリンピック景気後の更なる住宅着工戸数減に対する対応とパワービルダーとの競争激化などが近々の課題であると考えます。</p> <p>プレハブ住宅としての品質を下げる事なくお客様満足度を向上していかななくてはならない現状を考えると絶対に信頼を勝ち取らなければならない”お客様”という存在に如何にプレハブ住宅をアピールするかが重要です。</p> <p>今年度の邸別設計部門の事例研究ではプレハブ住宅の設計士としての強みを発揮しつつ入居者アンケート等の御不満点を真摯に受け止め改善すべき点はしっかり改善してより一層パワービルダーとの違いを明確にし、学ぶ事で今後の実務に役立てていただく事を狙っています。</p>	<p><b>【事前課題】</b></p> <p>1) 別紙事前課題①～⑤の差別化・コンセプト・提案・対策等を考慮に入れながら当日までに設計案を考える。</p> <p>2) グループ毎に異なるプレハブメーカーがコラボし仮想のお客様 に対しチーム毎に最終案を完成させる。</p> <p>3) 全グループの発表の中で改めてプレハブ住宅のメリット・お客様満足度をいかに高めるか等を再確認し、気づき・スキル・モチベーションを強化する。</p> <p>※ 1)以外にも設計条件(会場別で内容が違う)があるので注意</p>
<b>【施工】</b>	<p>お客様から「工業化住宅」が支持されるのは、工場生産された住宅部材を使うことで、在来工法に比べて「均一」で「高品質」な住宅であるというメリットがあるからです。</p> <p>しかし、お客様の住宅に対する品質要求レベルや期待は年々高くなり、今以上に品質の高い住宅を供給していかなければなりません。</p> <p>これからもお客様にご満足いただける、より高い品質の住宅を提供していくために、「私たちに何ができるのか」、「何をしなければならないのか」を一緒に考えていきましょう。</p>	<p>工業化住宅は、指定された材料を工場部材化している、施工方法は施工マニュアルとして整備している等、業務が標準化されています。</p> <p>しかし、「標準化された業務システム」に頼るだけでは、そのメリットを発揮出来ずに、逆にクレームとしてお叱りを頂く場合もあります。</p> <p>工業化住宅として、より高い品質の住宅をお届けするためには、「標準化された業務システム」を活用しながら、お客様の高いご要望に応えていく取り組みをそれぞれの現場で実行して行かなければなりません。</p> <p>事例発表を参考に、グループディスカッションを通じて参加者一人ひとりが「施工品質を高める現場力」とは何かを考え、明日から自分の現場で実践出来る事を掴んでいただきたいと思います。</p>

部門	背景と狙い	内容
【アフターサービス】	<p>昨今の異常気象により今後も頻繁に訪れる災害に対して、プレ協会員企業の組織力と現場力の強化により、オーナー様への安心を提供することの必要性が高まっています。一人一人の現場力を高めていくことにより、災害に対する日頃の準備やいざという時の対応力がお客様価値となり、工業化住宅の差別化（強み）となります。</p> <p>AS現場に携わる方々が誇りと情熱をもってこれにあたるべく、意見交換、情報共有を行います。</p>	<p>事前課題を元に、ディスカッションを行います。</p> <p>【事前課題】過去に経験した災害対応について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①どの災害に対して、どういう対応したか</li> <li>②何が良かったか（お客様に喜ばれた事）</li> <li>③反省点は何か。</li> <li>④今後どういう準備が必要か（個人、組織）</li> </ol> <p>【事例研究】発表</p> <p>会員企業の現場力を高め、災害対応に関してお客様価値をどう高め、差別化していくか、を発表していただきます。</p>
【リフォーム】	<p>リフォーム事業は既に各社の主力事業と位置付けられています。プレハブリフォームの信頼をさらに高め、高品質なリフォームを提供するために、現場力向上によりNO.1を目指していくことが大切です。</p> <p>先進事例及びグループ討議を通じて各社、各人の取り組みや工夫されているプロセスを学び、仕事に活かせるものとします。</p> <p>又、女性の活躍の場としてリフォームにもスポットを当てた事例報告も実施します。</p>	<p>1) 事例発表</p> <p>プレハブリフォームは現場力No.1であるという先進事例として、プレ協各社のノウハウを結集した”リフォーム教本”の紹介や女性活躍の紹介を行います。</p> <p>2) グループ討議</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①チームごとに重要課題を討議し、課題解決策やアイデアを出し合い、新しい仕事のプロセスに気付いて持ち帰ってもらいます。</li> <li>②同業他社の参加メンバーと意見交換することにより情報共有及び刺激と気づきを実感してもらいます。</li> </ol>

#### 《昨年度受講者の評価》参加者アンケートより抜粋

<全体講習> 住宅業界の動きやプレハブに対して目指すべき品質を聞くことができて良かった。プレハブ住宅のメリット、品質の重要性を改めて再認識できた。

<生産部門> 他メーカーと直接話せて具体的に知ることが出来た。同業他社の工場を見ることは大変参考になった。

<邸別設計部門> グループディスカッションでの他社の設計者と意見交換できたのは大変有意義で抱えている問題は同じと感じた。

<施工部門> 時間管理で他社の活動や状況を聞くことが出来、参考になった。自社でも導入できるアイデアもあったので、持ち帰って活かしたい。

<AS部門> 他メーカーの方と交流を図る事が出来、自社に吸収できるものは吸収しフィードバックしていきたい。(FAQの充実とiPadの活用)

<リフォーム部門> 皆が同じ課題を持ち、業務改善に取り組んでいることがよく理解できた。自社の業務改善に生かせる点もあり、勉強になった。